

現代日本語における「あなた」の使用について —ドラマ資料を利用して—

劉 玉琴・時 春慧

Gehrtz 三隅 友子

LIU Yuqin・SHI Chunhui

GEHRTZ-MISUMI Tomoko

中国大連理工大学ソフトウェア学院

徳島大学国際センター

要旨：日本語の二人称代名詞「あなた」が使いにくいとされる。その使用実態を明らかにするために、テレビドラマを利用し、「あなた」の現れるビデオ断片 290 を収集し、具体的な場面を抽出し、話し手と聞き手の性別、年齢、社会関係などの視点から分析を行った。結果として、女性が男性より「あなた」を多く使用し、青年と中年話者がほかの年代より頻繁に「あなた」を使っていることが分かった。また、社会関係においては、女性と男性に違う特徴が見られた。女性はどの関係の相手に使うのに対し、男性は比較的工作関係の相手によく使用している結果となった。

キーワード：二人称、あなた、テレビドラマ、使用実態

1. はじめに

日本語の人称詞は使いにくいと一般によく言われる。会話では、話し手は聞き手との人間関係、話題、場面などを考慮しながら人称詞を使い分けなければならない。現代日本語の二人称代名詞には「あなた」「あんた」「おまえ」「きみ」「きさま」などがあるが、これらの中から本稿では「あなた」に焦点を当てて分析を行う。

日本語の人称表現の特徴として、人称代名詞以外の他形式（名前、親族名称、職業名など）をよく用いる（鈴木，1973）ことと、省略が多いことがよく取り上げられている。そのため、日常的な自然会話が録音されたデータには「あなた」を使う例があまり見られない。しかし、テレビドラマのセリフには「あなた」の使用が多く見られた。そこで、本稿ではテレビドラマを研究資料として現代日本語会話における「あなた」の使用実態を考察することを試みた。

本研究は以下の2点を目的とする。

- (1) どんな人がどのような人間関係の人に対して、「あなた」を使っているか。つまり、話し手と聞き手の年齢、親疎、社会的関係などの側面に着目し、「あなた」の使用の様相を考察する。
- (2) 現代日本語の会話表現において、「性別」による二人称「あなた」の使用差がどのように現れるか、その実態を明らかにする。

2. 先行研究

「あなた」のみに焦点を絞って考察するものはあまりない。数多くの人称代名詞をどのように使い分けるのかについての考察が多い。それらの研究では、「あなた」について矛盾する二つの見方

がある。一方では「あなた」は、フォーマルな人称代名詞に属する（金丸，1997：17）。ある程度敬意があるとするものと、もう一方では「あなた」は直接的すぎる、使用には失礼さが伴い、避けられる傾向にある（鈴木，1973；三輪，2010；金井，2012）とするものである。

米沢（2014）は「国会議事録の中に見られる『あなた』の使用環境を見ることにより、『あなた』の根本的な性質について『純粹無色の人称詞』という仮説を立てた。純粹に対話の相手を指し示す働きをし、相手との社会的関係を表示しない性質を持つ。

本研究では、「あなた」という人称詞の性質を考察するのではなく、日常会話における「あなた」の実際の使用状況について、つまり誰が誰に対して、どんな頻度で用いるか、男女の間差があるかどうか、テレビドラマのデータを通して、統計分析を行う。

3. 研究データについて

現代日本語の話し言葉における「あなた」の使用実態に対する分析を行うため、テレビドラマを利用して「あなた」を含めた対話場면을収集することにした。もちろん調査の対象として望ましいのは自然会話をを用いることであるが、現実的には自然談話から多様なデータを採集することは困難である。一方、テレビドラマや映画では対話状況が視覚的にも聴覚的にも確認でき、もっと有利であることを利用した。

本研究では、33本のドラマを集め、その中から研究対象に相応しくない非現実的及び歴史的なものは除外した。また同じ発話場面に重複に出た「あなた」も削除した。最後にランダムに「あな

た」が現れるビデオ断片を290例選び出した。それから、選出された290例のテレビドラマのビデオ画像を確認しながら、「あなた」が現れる場面情報を付加するという方法でデータを作成した。場面情報は下記の表のようにまとめる。

表1 「あなた」の現れる場面情報(例)

番号	性別	年齢層	社会的関係	親疎	場面	感情	文体	出典
1	男-男	中-青	上司-部下	疎	公	感謝	丁寧	『南極大陸』第6回
2	男-男	青-青	同僚	疎	公	怒り	丁寧	

4. 結果と考察

「あなた」が現れる290例の会話を統計で考察した結果、発話者が「あなた」を使用する際、性別、年齢、聞き手との社会的関係などの要素に影響される。

4.1 性別

まず、「あなた」が現れる会話を男女別に使用率を統計してみた。統計結果は表2にまとめた。

表2 男女別の使用率

聞き手	女性	男性	その他	合計
話し手				
女性	76 (42.0%)	104 (57.5%)	1 (0.5%)	181 (100%)
男性	45 (41.3%)	59 (54.1%)	5 (4.6%)	109 (100%)

()の中は% (以下同様)。

表2から二点の傾向が見られる。

(1)話し言葉では男女の「あなた」の使用率には大きな差がある。女性の使用は181件、総用例の62%を占めるのに対し、男性の使用は109件で、総用例の38%を占める。

(2)男女の発話者はともに、聞き手の性別に関係なく「あなた」を使用している。男女の間には大きな差が見られなかった。女性話者は女性聞き手に76回(42%)、男性聞き手に104回(57%)使っている。男性話者は男性聞き手に59回(54%)、女性聞き手に45回(41%)使っている。

周知のように、日本語の二人称代名詞には「あなた、きみ、お前、あんた、てめえ」など多くあるが、「きみ、お前」などは男性専用語であり、それに対して、女性には専用の二人称代名詞はない。そのため、女性が男性より「あなた」という語を多く使用していることは当然であろう。ただ、辞書(大辞泉)などの説明では、「あなた」は妻が夫に対して、軽い敬意や親しみを込めている言葉と

される。学習者が「女性が夫や、恋人などの男性に対してよく『あなた』を使う」と印象付けられてしまう。したがって、日本語教育現場では、女性話者が性別関係なく女性の相手にも「あなた」を使うということを学習者に伝えるべきだろう。

4.2 年齢

集められたビデオ断片をもとに、発話者を「幼年(0~4歳)、少年(5~18歳)、青年(19~40歳)、中年(41~60歳)、高年(60歳以上)」と五つの年齢組に分けた。また、年齢不詳の者はドラマの見かけで判断することにした。以下の表3は、年齢別の使用率をまとめた。

表3 年代別の使用率

話し手	少年	青年	中年	老年	その他	合計
少年	8 (89%)	0 (0.0%)	1 (11%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (100%)
青年	4 (3.2%)	70 (56.5%)	41 (33.1%)	3 (2.4%)	6 (4.8%)	124 (100%)
中年	8 (6.9%)	43 (37.1%)	62 (53.4%)	3 (2.6%)	0 (0.0%)	116 (100%)
老年	1 (2.4%)	22 (53.7%)	15 (36.6%)	3 (7.3%)	0 (0.0%)	41 (100%)
合計	21	135	119	9	6	290

%は各行(各年代)の合計に占める割合である。

まず、話し手について見てみる。表3から分かるように、青年組と中年組の話し手はほかの年代より頻繁に「あなた」を使っている。それぞれ総用例の42.8%と40%を占めており、両者の間にはあまり差がない。一方、高年と少年組における使用は少なく、それぞれ41回(15.4%)、9回(3.1%)しかない。なお、今回の考察では、児童の使用例が見られなかった。

次に聞き手について見る。表3から次の二点のことが言える。①青年が使用した「あなた」の56.5%は同年代に対するものであり、33.1%は中年に対するものである。年配者にはほとんど使わない。②中年組が「あなた」を使うとき、相手は年下の青年(37.1%)や、同年代の中年(53.4%)であり、年配者に対してはほとんど使わない。

4.3 社会的関係

会話の場面や話し相手(との社会的位置関係)によって人称の使用が影響されると考えられる。本稿では、対話者の間の関係を親族関係、仕事関係、友人関係、恋愛関係、不明関係(初対面など)の五種類に分けることにした。用例を考察した結果、男女発話者の使用には共通点も相違点も見られた。

表4 社会関係による男女別の使用率

社会的関係 性別	親族 関係	恋愛 関係	仕事 関係	友人 関係	不明 関係	その他	合計
女性	27. (14.9%)	36. (19.9%)	64. (35.4%)	36. (19.9%)	14. (7.7%)	4. (2.2%)	181. (100%)
男性	3. (2.7%)	6. (5.5%)	66. (60.6%)	13. (11.9%)	16. (14.7%)	5. (4.6%)	109. (100%)

4.3.1 女性の使用特徴

表4から分かるように、女性ほどの社会関係においても「あなた」を使用する。一番多く使われるのは「仕事関係」の相手に対するものであり、35.4%を占める。その次は恋愛関係、友人関係で19.9%、親族関係14.9%である。最後は不明関係、7.7%しか占めていない。数量的には各社会関係の相手には使用差があるが、大きな差とは言えない。つまり、女性は人称詞の「あなた」をほとんどの場面で使うということになる。さらに、「親族関係」では年上が年下に、同年代の相手に使う。例えば、母が子供に対して使う{例(1)}。「仕事関係」では上司が部下に、先生が学生に対して使った例が多い。

例(1)：(母が息子に。話し手：高年女性。
《冬の桜9》)

あなたを助けてくれた人たちに感謝しなさい。せっかく救われた命、誰か恨み続けて生きても悲しいだけよ。

4.3.2 男性の使用特徴

表4及び用例の考察から、男性の使用特徴を三つにまとめた。

第一に、女性と違い男性は親族関係と恋愛関係の相手に対してはほとんど「あなた」を用いない。息子が親に使う場面は3例あったが、息子が長年親から離れて少年院に入っていたので、親子関係というよりよそ関係に近いと思われる。また、恋愛関係においては、6例の用例があった。用例は少ないが、興味深い特徴が見られた。男性は付き合いの浅い恋愛相手に対しては「あなた」を使っていたが、長く付き合い合った相手や妻に対しては「きみ」「お前」などを使用した。たとえば例(2)では、主人公の男女がお互いに好意を持っているが、恋愛関係がまだ成立していない。男の主人公は言葉遣いが丁寧で、人称詞「あなた」も多く使用している。

例(2) (話し手：青年男性、聞き手：中年女性、
《冬の桜9》)

萌奈美さんに希望を持って欲しくて、あの桜の

咲く姿を見たいと、思い続けて欲しかったんです。俺には、こんな事しかできなくて、だけど、どうしてもあなたに生きていて欲しく。

第二に、男性がもっとも「あなた」をよく使う場面は「仕事場面」であり、66回を使い、総用例の60.6%を占める。仕事関係において、上司が部下に、対等な同僚に対して「あなた」を使うのである。また、仕事場面で男性が「あなた」を使うとき、相手と「距離」を置くというニュアンスがある。たとえば例(3)の会話では、校長が若い男性教師に「先生」、「あなた」、「きみ」と三つの人称詞を使用している。

例(3) (A：中年校長 B：青年教師

《大切なことはすべて君が教えてくれた5》)

A：先生は言ったそうですね。あしたからも学校に来ることが償いだと。傷つけてしまった人から逃げては駄目だと。

B：はい。

A：わたしもそう思います。いずれ処分は下さなければならない。でも今あなたはここにいる、大切な生徒たちとこの学校をどう傷つけたのか。身をもって感じなければならない

B：はい。

A：でもわたしは君のことを知ってるし。軽蔑しきれない。何かあったはずです。事情を聞かせてくれませんか？

第三に、「あなた」が使われた男性の発話は94% (102/109)がフォーマルな話し方、すなわち「デス・マス」の丁寧体が用いられることがわかった。礼儀と心理的距離を表すためだと思われる。

4.3.3 男女の共通点

知らない相手に対して、男女ともに「あなた」を用いる。そして、発話者の職業が警察や検事、医者、記者など特殊なものである場合も、よく「あなた」が使われる。初対面の人に対して「あなた」を使う理由は相手の地位や身分などがわからないからである。それに対し、警察などの場合では、相手の地位などがわかるとしても、距離を置くために、相手の年齢、地位、身分などを考慮しない態度をとるのではないかと考えられる。

例(4) (A：中年女性 B：中年男性

場面：初対面 《絶対零度2》)

A：どうしてうちなんでしょうか。

B：それは朝倉さんの 一般市民を守る趣旨に共感してるからですよ。

A：失礼ながら、あなた方の団体について お聞き

したことがないんですが。
B: それは当然です。

5. まとめ

本研究はテレビドラマのデータを利用して、日本語会話における二人称「あなた」の使用について、性別、年齢、社会関係の要素による使用の異同を分析した。結果を以下のようにまとめる。

- (1) 女性が男性より「あなた」を多く使用している。が、男女発話者は性別に関係なく相手を「あなた」と呼ぶ。
- (2) 青年と中年話者がほかの年代より頻繁に「あなた」を使っている。その話し相手としては同年代、年下、及び年上（青年—中年）であり、年の差が大きい年配者には使われない。
- (3) 社会的関係については以下に表す。

女性話者の使用特徴。	①どの関係の相手に対しても「あなた」を使用している。 ②仕事関係>恋愛関係>友人関係>親族関係>不明関係。 ③対等の人、目下、年下に使う。
男性話者の使用特徴。	①親族関係、恋愛関係の相手に殆ど使わない。 ②「仕事関係」における使用頻度が断然多い。 ③「あなた」が見られた男性の発話は「デスマス」の丁寧体を使用している。
男女共通点。	①知らない相手を「あなた」と呼ぶ。 ②職業が警察、医者、記者などの場合、「あなた」がよく使われる。

本研究は、①2013 年度中国教育部人文社会科学规划基金項目 <ビデオコーパスに基づいた断りの発話行為についての研究>2013 年度教育部人文科学研究、13YJA 740039 及び②2016 年度遼寧省社会科学院规划項目<ビデオコーパスに基づいた日本語間接行為の語用研究>、2016 年度遼寧省社会科学院、ZX20160637 の成果である。

参考文献

- 鈴木孝夫 (1973) 『ことばと文化』 岩波書店
 三輪正 (2000) 『人称詞と敬語—言語倫理的考察—』 人文書院
 金井勇人 (2012) 「Ortega による二人称 (代) 名詞の考察について」 『埼玉大学国際交流センター紀要』 6: pp. 25-31, 埼玉大学.
 金丸芙美 (1997) 「人称代名詞・呼称」 井出祥子 (編) 『女性語の世界』 pp. 15-32, 明治書院
 米沢陽子 (2014) 「二人称代名詞「あなた」に関する一考察：国会議事録の分析を通して」 Conference proceedings of the 18th Biennial Conference of the Japanese Studies

- Association of Australia.
 田窪行則 (1997) 「日本語の人称表現」 田窪行則 (編) 『視点と言語行動』 pp. 13-44, くろしお出版
 熊谷智子 (2003) 「シナリオのある会話—ドラマの日本語の特徴—」. 『日本語学』 第 22 卷. 明治書院. pp 6-14
 橋口美紀 (1998) 「二人称代名詞「あなた」の歴史の変遷について」 『鹿屋体育大学学術研究紀要』 19, 55-63
 『大辞林』 (第三版 2006) 三省堂